

私は「白黒思考」をやめている

2022・3・2 重枝 一郎

私たちも生徒もまた、環境やメンバーとの出会いと別れの季節が来る。私たちは「心理的安全」をつくることができるかを心配する。誰もが、日々の悩みが少なく、おだやかで、ほっとできて、ハッピーでありたいと思う。そして、そういう「心理的安全」は、自分からつくるのが大切なのである。「心理的安全」をつくるための具体的な考え方をいくつか述べる。

一つ目は、「自分の正解にこだわらない」ということである。社会の変化、相手の変化、環境の変化などの中で、自分の考え方やうまくいく「正解」自体も変わっていくのは当然である。自分の正解に固執すると、変化を拒み、相手を否定し、反論しか言わない。これは「心理的安全」を下げる場合が多い。安心して話していたら突然キレられたらどうだろう。次からはおそらく口をつぐんでしまう。この否定や反論は「自分が正しい」という思いが強いときに出る。いつも言うが「ひとりひとり見えている世界が違う」のである。自分にとって正しいことが、常に相手にとって正しいわけではない。昔、学年会でよく意見を言う先生がいた。それ自体は特に不満がないのだが、その先生は自分の意見や考えに「こだわる」ことが多く、全く話は前に進まず、おそらくハッピーな人は誰もいなかったと思う。私も早く会議が終わって部活に行きたいとしか思わなかった。結局、「心理的安全」を下げていたと思う。多くの人のやる気は下がり、会議が終わるとエネルギーだけが失われていた。そのころから私はいろんな場面で「こだわりがこわばりを生む」とまわりに話していた。「こだわる」ことはハッピーに過ごす上ではあまり役に立たないことが多いと思う。だから私は「白黒思考」をやめている。年度初めに先生方に「白とか黒でなく、グレーでいい」と言ったのはそういう意味である。

二つ目は、「言葉で伝える」ということである。よく「それくらいわかってよー」と思うことはあると思う。同じことを何回も言うが「ひとりひとり見えている世界が違う」ので、相手の見えている世界を知るには言葉にしてもらえないのである。そのためには「心理的安全」な関係が必要であり、だから日頃から仲良くしておくことは重要なのである。この「言葉で伝える」ことは、意見や考えもそうなのだが、特に大切なのは「ありがとう」である。この魔法の一言で、自分も相手も前に進んでいく。

三つめは、やはり「出会うべき時に、出会うべき人に会っている」ということである。出会いをポジティブにとらえることが大切である。次年度になるとまた新しいメンバーとの出会いがある。そのとき、その変化を拒み、ネガティブなマインドになるのではなく、ポジティブに考えることが大切である。私自身、そう考えてこの1年間を過ごせた。心からみなさんに感謝である。「心理的安全」がここにはある。

最後に、「心理的安全」づくりは、自分から始める。そうすれば、自分自身もチームも進化することができる。

S3の先生方へ

ご卒業おめでとうございます。生徒の“これから”をつくる指導・支援をたくさんしていただきました。あらためて感謝申し上げます。式辞でも話しましたが、卒業生が私たちを越えていき、自分たちの望むような未来を創り出し、実現していくことを一心に願いたいと思います。ありがとうございました。